

基本構想（案）について

■総合計画の構造（第1回審議会資料より再掲）

総合計画は「基本構想」、「基本計画（前期・後期）」、「実施計画」の3層構造となっています。特に本年度策定予定の「基本構想」は町の理念や目指すべき将来像を定め、まちづくりの方向性を定める最重要内容となります。

図1 総合計画の構造図（第1回審議会資料より再掲後に策定年度を追記）

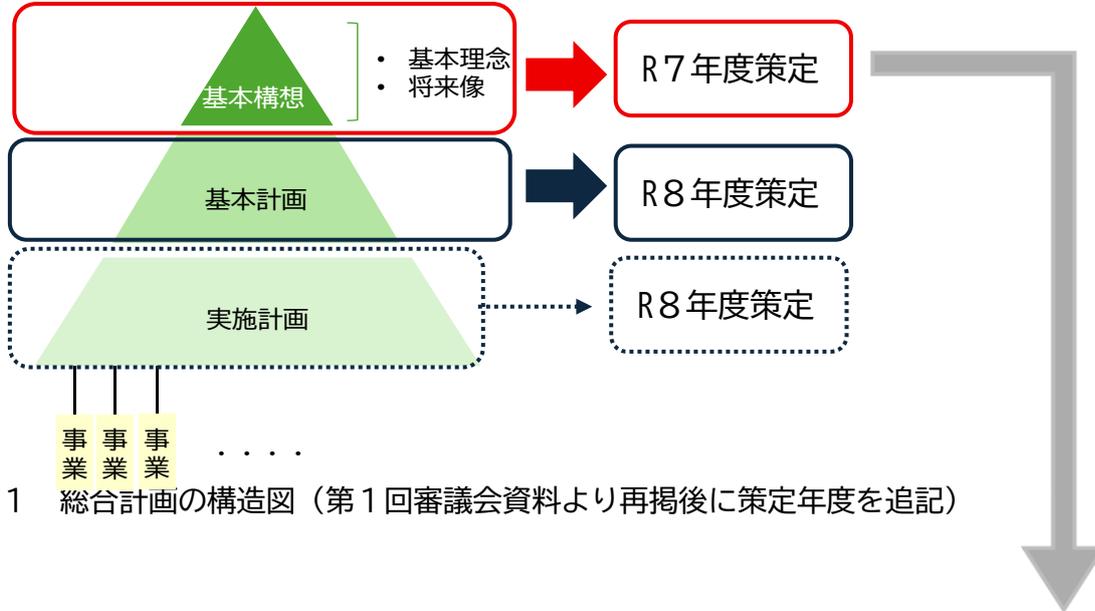
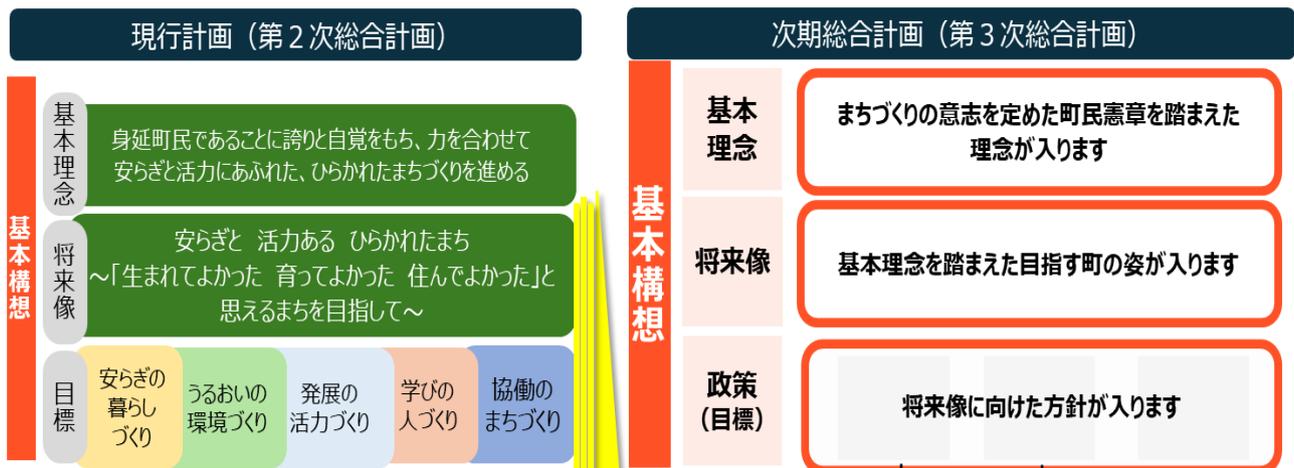


図1 総合計画の構造図（第1回審議会資料より再掲後に策定年度を追記）

■基本理念について

図2のとおり、基本構想の最上位には、基本理念が入ります。

図2 基本構想に記載される内容（第1回審議会資料より）



第2次身延町総合計画基本構想（現行計画）では、基本理念を以下のように定めています。

まちづくりの基本理念

平成17年12月1日に「身延町民憲章」が制定され、まちづくりの意思が定められました。

身延町民憲章

私たちの郷土は、雄大な山なみに抱かれ、四季を通して緑と水とが織りなす美しい自然環境に恵まれています。古くから河内路の要衝として栄えた歴史と文化は、幾世代にわたって受け継がれ、今もなお郷土の中に脈々と息づいています。

私たちは、身延町民であることに誇りと自覚をもち、力を合わせて安らぎと活力にあふれた、ひらかれたまちづくりを進めていかなければなりません。

このことをふまえて、ここに町民憲章を定めます。

- ふるさとの自然を愛し、安らぎのある町をつくります。
- 心と体をきたえ、明るく健康な町をつくります。
- 仕事に励み、創意と活力あふれる町をつくります。
- 生涯を通して学びあい、香り高い文化の町をつくります。
- 助けあい、心のふれあうひらかれた町をつくります。



平成17年12月1日制定

第一次総合計画において、この「身延町民憲章」が基調にしている「身延町民であることに誇りと自覚をもち、力を合わせて安らぎと活力にあふれた、ひらかれたまちづくりを進める」ことを基本理念におき10年が経過し、この取り組みが定着してきました。これまでの取り組みをさらに発展させることを期待して第二次総合計画でも基本理念を継承しています。

[まちづくりの基本理念]

**身延町民であることに誇りと自覚をもち、力を合わせて
安らぎと活力にあふれた、ひらかれたまちづくりを進める**

町民憲章は、身延町民として将来にわたって受け継がれていくべきものであり、その精神に基づいて策定された基本理念は、今後も継続して継承すべき内容です。

そのため、第3次身延町総合計画における基本理念は現行計画の理念を継承することとします。

■将来像について

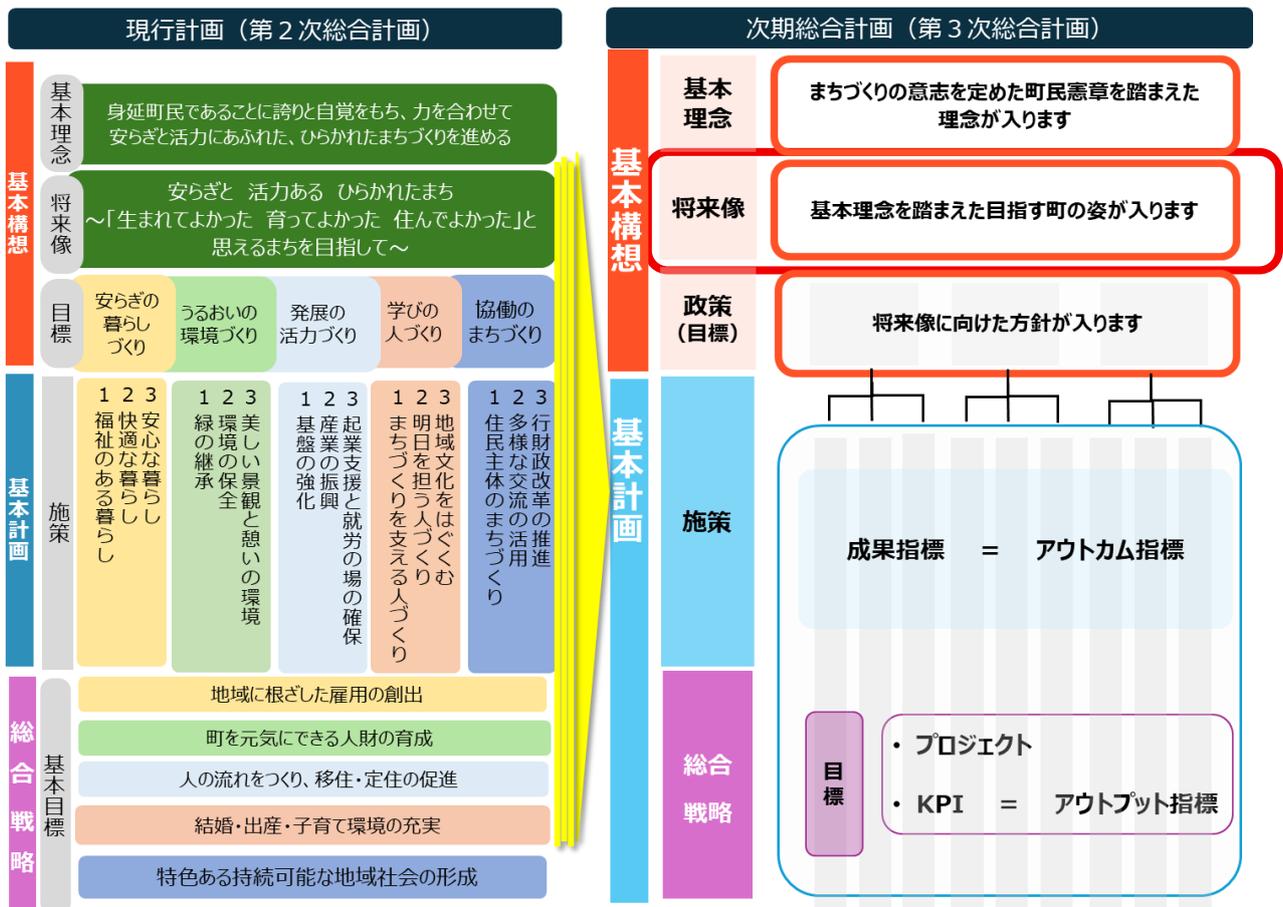
議題（１）のアンケート結果（クロス集計）報告（資料１）からは、「近隣での手助け」や「集落への愛着」など、安心や自然環境に関する項目や地域とのつながりが強いほど、住み続けたいと思う層が多い傾向がみられています。一方で、施策評価（資料２）からは、人材・担い手不足や施設の老朽化といった課題が挙げられ、行政の支援やサービス提供のみでは地域の暮らしを維持することが難しくなりつつある状況がうかがえます。

また、人口推計（別紙１）では、希望出生率を叶えられたとしても、人口は今後も減少していくことは避けられない状態であることが分かります。

一方、先日実施した第２回ワークショップ（別紙２）では、分野ごとにまとめられた将来像には、共通して、人と人がゆるやかに協力しあい、心地よさや安心感のある暮らしを大切にしながら、町民一人ひとりが自分らしく新しいことに挑戦できる状態を育てていくという方向性が見られました。

これらを鑑み、また基本理念を踏まえて、基本構想の「将来像」（図３参照）を以下のとおり設定しました。

図３ 基本構想に記載される内容【再掲】



【将来像案】

案1：誰もが安心して暮らし 人と未来がつながるまち 身延

身延町は、豊かな自然と長い歴史に包まれ、人と人との絆が息づくまちです。
住民の手で少しずつ始め育ててきた活動や、住民の声から生まれた取組みなど、今では大きな実を結んでいるものがいくつもあります。
桜の花で町を彩る取組みや、冬を明るく照らすイルミネーション。
季節の行事や地域の清掃、声をかけ合い、自然と集まる場…。
そうした一つひとつが、この町の“あたたかさ”を形づくってきました。
大きく変えなくてもいい。がんばりすぎなくてもいい。
ゆるやかにつながり合いながら、安心して過ごせる時間と場所があること。
それが、この町らしさであり、これからも大切にしたいことです。
ひとと地域がつながり、ほっとできるまち。
そのやさしさを、これからもみんなで育てていきます。
そして、世代を超えて人と人がつながり、未来へと心をつないでいく、
「誰もが安心して暮らし 人と未来がつながるまち 身延」を目指していきます。

案2：ひと・地域がつながり 安らぎあるまち 身延

身延町は、緑豊かな自然と温かな人のつながりに包まれたまちです。
人口減少が進むなかでも、身延町には、ここで暮らす人の想いや力が確かにあります。
長く地域を支えてきた高齢者の経験と知恵、縁あってこの町に暮らし始めた方々の新しい視点、そして今を生きる若い世代の感性と行動力。
そのどれもが、身延町の大切な力です。
こうした力をゆるやかに結び合わせ、今ここに暮らす一人ひとりが「心地よさ」と「生きがい」を感じながら、それぞれの個性や才能を活かして住みつづけられることを大切にしていきます。
無理に変えるのではなく、この町らしさをいかしながら、皆で育てていくまちづくり。
人が互いに信頼し、地域と共に歩むことで、住む人すべてに安らぎをもたらす、
「ひと・地域がつながり 安らぎあるまち 身延」を目指していきます。

案3：つながりと安らぎの中で 住みつづけたいまち 身延

身延町は、自然の恵みと人の温もりに包まれた、心安らぐ町です。人口減少が進むなかで、まちを支えていくのは、ここで暮らす一人ひとりの「暮らしの実感」です。
「住みつづけたい」と感じられるまちは、何か特別な取組だけでつくられるのではありません。日々の暮らしの中にある安心や、誰かとゆるやかにつながってられる心地よさの中から生まれていきます。
身延町はこれまで、自然とともにある穏やかな暮らしを大切にし、お互いを思いやり、ほどよい距離感を保ちながら、助け合う関係を育んできました。
今ある良さにそっと寄り添いながら、もっているものを活かしあい、「ここが自分の居場所だ」と思える日常を、これからもみんなで積み重ねていきます。
そして、ここに住む人々が誇りを持ち、「これからもこのまちで暮らしたい」と思える、「つながりと安らぎの中で 住みつづけたいまち 身延」を目指していきます。

■分野別の政策について

別紙2に記載のとおり、第2回町民ワークショップ（10月27日実施）では、分野ごとに課題を共有し、その課題を解消した先に描かれる「分野別の将来の姿」を整理しました。

政策	内容	主な分野	第2回WSで出されたキーワード
① つながり 人と人、地域と地域が 支え合うまち	多世代・地域・移 住者が交わり、 支え合う関係を 育む	教育・子育て・コ ミュニティ・地 域活動・共生社 会	#地域行事の統合 #地域の新しい交流 #生きがい #多様なコミュニティ #高齢でも健康 #慣れる→楽しむ #新しい子どものコミュニティ #絆 #地域内交流
② 安らぎ 自然と調和し、安心し て暮らせるまち	暮らしの基盤を 整備し、誰もが 健やかで穏やか に暮らせる	福祉・医療・交 通・文化・住宅・ 防災	#安心して農業ができる #健康になる #移住者が増えて地域の活性化、 #免許返納 #交通網の充実
③ 可能性への挑み 誰もが自分らしく挑 める	子ども・若者・女 性・高齢者を問 わず、学び・働 き・活動に挑戦 できる	産業・観光・人材 育成	#女性の活躍、#楽しみ #刺激、#事業承継 #起業サポート #就農サポート #飲（飲めるところ楽しめること に特化）
④ しくみ みんなの想いを支え る、信頼される行政	行政と住民が協 働し、デジタル 化や財政運営の 見える化を進 め、まちを支え る基盤を築く	行政運営・DX・財 政・行政の人材 育成	#集約・拠点 #デジタル・DXの活用

基本構想（骨子）

第3次総合計画（基本構想）

基本構想

基本理念 (案)

身延町民であることに誇りと自覚をもち、
力を合わせて
安らぎと活力にあふれた、
ひらかれたまちづくりを進める

将来像

- 案1 誰もが安心して暮らし 人と未来がつながるまち 身延
案2 ひと・地域がつながり 安らぎあるまち 身延
案3 つながりと安らぎの中で 住みつづけたいまち 身延

政策 (案)

- 政策1 つながり：人と人、地域と地域が支え合うまち
政策2 安らぎ：自然と調和し、安心して暮らせるまち
政策3 可能性への挑み：誰もが自分らしく挑める
政策4 しくみ：住民の想いを支える、信頼される行政

【参考】 県内市町村「総合計画・将来像」一覧

市町村名	総合計画・将来像	計画期間
甲府市	幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府（第七次甲府市総合計画(案)）	R8～R17
	人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府(第六次甲府市総合計画)	H28～R7
富士吉田市	富士の恵みと幸せを紡いでまちを織る活力創造都市 富士吉田	H30～R9
都留市	ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる	H28～R8
山梨市	誇れる日本を、ここ山梨市から。	H29～R8
大月市	ひとと自然をいかし、希望のもてる未来をみんなで実現していくまち 大月	R6～R17
韮崎市	すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき ～ チーム韮崎で 活力ある まちづくり ～	R1～R8
南アルプス市	人がつどい 次世代につなぐ 活力あふれるまち 南アルプス ～自然と暮らしが調和した幸せ共感都市～	R7～R16
北杜市	人と自然と文化が躍動する環境創造都市 ～絆を紡ぎ北杜を前へ～ (第4次北杜市総合計画基本構想 案)	R8～R17
	人と自然と文化が躍動する環境創造都市 北杜新時代 幸せ実感 チャレンジ北杜 (第3次北杜市総合計画)	R3～R12
甲斐市	緑と活力あふれる生活快適都市	R7～R16
笛吹市	ハートフルタウン笛吹 ～優しさあふれるまち～	H30～R7
上野原市	まだ知らないだけ。上野原（総合戦略 ※最上位計画）	R7～R12
甲州市	豊かな自然歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち甲州市	H30～R9
中央市	実り豊かな生活文化都市	H30～R9
市川三郷町	ひと・自然・伝統 「つなぐ。つながる。」いちが『わ』みさと	R7～R16
早川町	『みんながつながり、山の暮らしを守り伝えるまち』	R3～R12
南部町	水と緑が溢れるふれあい豊かな町づくり	R7～R16
富士川町	暮らしと自然が輝く 交流のまち～”生涯”快適に暮らせるまちを目指して～	R7～R16
昭和町	未来への魅力あふれる昭和町－暮らしやすさ一番を目指し	R6～R13
道志村	人と自然が輝く水源の郷 ～住んでみたい村 住んでよかった村～	H28～R7
西桂町	豊かな自然 輝く未来を紡ぐ 水のまち にしかつら	R3～R12
忍野村	みんなで築く 豊かなふるさと 忍野村 ～村民ひとりひとりが生き生きと生活できる村づくり～	R7～R16
山中湖村	名山 富士山によく似合う 希望豊かに日々暮らす未来へ羽ばたく 里とともに築きます	R2～R11
鳴沢村	心地よく健やかに暮らせるために みんなでつくる鳴沢村	H29～R8
富士河口湖町	ひとを優しくつなぐ 世界に誇る ふじのまち	H30～R9
小菅村	みんなで作る源流の輪 こすげ	R4～R13
丹波山村	縁(えにし)めぐる里 丹波山村	R2～R11